

岩木川浄化センター自家発電機棟耐水化工事

令和 8 年

図面目録

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
A - 0 1	表紙	-	A - 1 6	建具表	A3：1／50
A - 0 2	図面リスト	-	A - 1 7	建具詳細図	A3：1／3, 20
A - 0 3	計画概要書、計画全体案内図	A3：1／10000	A - 1 8	部分詳細図	A3：1／5, 20
A - 0 4	改修特記仕様書（その１）	-			
A - 0 5	改修特記仕様書（その２）	-			
A - 0 6	改修特記仕様書（その６）	-			
A - 0 7	改修特記仕様書（その８）	-			
A - 0 8	改修特記仕様書（その１１）	-			
A - 0 9	改修特記仕様書（その１２）	-			
A - 1 0	建築特記仕様書（補足）	-			
A - 1 1	取りこわし特記仕様書	-			
A - 1 2	取りこわし特記仕様書（補足）	-			
A - 1 3	改修仕上表 岩木川浄化センター	-			
A - 1 4	配置図 岩木川浄化センター	A3：1／1000			
A - 1 5	改修部（建具・その他）キープラン	A3：1／100			

2

仮設工事

・騒音・粉じん等の対策

・防音パネル
・防音シート

防水パネル等を取り付ける足場等の設置範囲

・図示による

〇足場等

「手すり先行工法等に関するガイドライン」について
（厚生労働省 令和5年12月26日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の（1）手すり据置き方式又は（2）手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場

・設置する
（設置範囲
・工事に必要な範囲
・図示による
）
〇設置しない

防護シート

・設置する
（設置範囲
・工事に必要な範囲
・図示による
）
・設置しない

内部足場

〇設置する
（※脚立足場
・
）
・設置しない

・材料、撤去材等の運搬方法

種別（・A種
・B種
・C種
・D種
・E種）
C種：利用可能なエレベーター
（・図示による
・
）
D種：利用可能な階段
（・図示による
・
）

・既存部分の養生

養生方法等
・既存部分
養生方法（※ビニルシート、合板
・
）
・既存家具、既存設備等
養生方法（※ビニルシート等
・
）
・既存ブラインド、カーテン等
養生方法（・ビニルシート等
・
）
保管場所（・図示による
・
）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動
・図示による
・
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所
・図示による
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材
・A種	・せっこうボード 種類（・ 厚さ（・ mm ※9.5mm） ・合板 材質（・ 厚さ（・ mm ※9mm） ・	・無し ・片面 ・	グラスウール 厚さ mm
・B種	・		
※C種	防煙シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	・か所 ・ ・図示による

3

防水改修工事

・施工数量調査

調査範囲
・図示による
調査方法
・図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書（提出部数
・2部
・
）

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による
・
既存防水の処理
既存保護層の撤去
・行う（範囲
・図示による
・
）
・行わない
既存防水層の撤去
・行う（範囲
・図示による
・
）
・行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う（・M4AS
・M4ASI
・M4C
・M4DI
・L4X）
・行わない
既存下地の処理
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・図示による
・
POS工法及びPPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理
※改修標準仕様書3.2.6(4)(f)(g)①～③による
・
設備機器架台、配管受部、バラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による
・
アスファルト防水
新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・P2A	・A-1			※ホリエレンフィルム 厚さ0.15mm以上又は フラットヤンクロス 70g/㎡程度
	・A-2			
	・A-3			
・P1B	・B-1			※フラットヤンクロス 70g/㎡程度
	・B-2			
・P2AI	・AI-1			
	・AI-2		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法 ホリスレンフォーム 断熱材3種bA (スラン層付き)	・
	・AI-3			
・P1BI	・BI-1			
	・BI-2		(厚さ)(mm)	・

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.3～表3.3.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.3及び表3.3.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ
※水下
80mm以上
・
床タイル張り
※水下
60mm以上
・
立上り部の保護方法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系パネルⅠ類（厚さ（mm）幅（mm））
・れんが押え（※JIS R 1250
・
）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

新設防水層（屋根露出工法）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・7スフルトルーフィング類の製造所の仕様	※7スフルトルーフィング類の製造所の仕様	・適用する	
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2					・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない
・PODI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) ・ (厚さ)(mm) ・			・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.7～表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
（個）
屋内防水
防水層の種類

改修工法	種別	施工箇所
・P1E	・E-1	
・P2E	・E-2	

保護層
・設ける（※図示による
・
）
・設けない
・E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
・屋上排水溝
・図示による
・

・改質アスファルトシート防水

新設防水層（屋根露出防水）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
種類	使用量						
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・改質アスフルト類の製造所の仕様	※改質アスフルト類の製造所の仕様	・適用する	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1					・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3					・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		改修標準仕様書3.4.2(3)(f)(種類) ・ (厚さ)(mm) ・			・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※改質アスファルトシート類の製造所の指定
・
設置数量
※改質アスファルトシート類の製造所の指定
・
（個）
絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない

（設計者等表示欄）※

※設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する。

岩木川浄化センター自家発電機棟耐水化工事

改修特記仕様書（その2）

青森県

A-05

—

—

5 建具 改修工事	○改修工法	[5. 1. 3] [5. 1. 6]		・網戸等	[5. 2. 3、5. 3. 3]		・鋼製軽量建具	性能値等 [5. 2. 2] [5. 5. 2～4]		・木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 [5. 7. 2～4]	
		既存建具の種類	かぶせ工法		撤去工法	適用箇所		※A種	建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量			
		・アルミニウム製建具	・		・	・建具表による		・	・			
		・樹脂製建具			・	・建具表による		・	※F☆☆☆☆			
		○鋼製建具	○外部		・	・建具表による		・	・フラッシュ戸			
		・内部	・		・建具表による	・		表面材のホルムアルデヒド放散量等				
		・鋼製軽量建具	・		・	・建具表による		・	※改修標準仕様書5. 7. 2 (2) (イ) (a)による			
		・ステンレス製建具	・		・	・建具表による		・	表面材の合板の種類			
		・木製建具			・	・建具表による		・				
		新規に建具を設ける場合				壁部分の開口の開け方					※図示による	
新規建具周囲の補修工法及び範囲				※図示による				建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。				
・再使用（ ・ブラインドボックス				・				・防火戸				
○指定する [5. 1. 4]				適用箇所 ○建具表による				・指定しない				
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動				・連動させる 適用箇所（ ・建具表による				・連動させない				
○見本の製作等 [5. 1. 5]				建具見本の製作				・行う（建具符号：				
○行わない				建具見本製作の目的等：（				特殊な建具の仮組				
・行う（建具符号：				○行わない				○防犯建物部品				
・適用する（ ・建具表による				） [5. 1. 7]				○適用しない				
・アルミニウム製建具				性能値等 [5. 2. 2～5] [表 5. 2. 2]				○鋼製建具				
耐風圧性の等級（ ・				（建具符号 ・建具表による				簡易気密型ドアセット				
（建具符号 ・建具表による				）				・適用する				
気密性の等級（ ・				（建具符号 ・建具表による				（建具符号 ・建具表による				
（建具符号 ・建具表による				）				○適用しない				
水密性の等級（ ・				（建具符号 ・建具表による				外部に面する建具の耐風圧性				
（建具符号 ・建具表による				）				耐風圧性の等級（ ・				
外部に面する建具の種類				・A種（建具符号 ・建具表による				（建具符号 ・建具表による				
・A種（建具符号 ・建具表による				）				（建具符号 ・建具表による				
・B種（建具符号 ・建具表による				）				防音ドア・防音サッシ				
・C種（建具符号 ・建具表による				）				遮音性の等級（ ・				
枠の見込み寸法（ ・建具表による				）				（建具符号 ・建具表による				
防音ドア・防音サッシ				遮音性の等級（ ・				（建具符号 ・建具表による				
遮音性の等級（ ・				（建具符号 ・建具表による				断熱ドア・断熱サッシ				
断熱性の等級（ ・				（建具符号 ・建具表による				断熱性の等級（ ・				
（建具符号 ・建具表による				）				耐震性能				
材料				ステンレス鋼板				建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による				
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1				ステンレス製くつずりの仕上げ				材料				
※HL				形状及び仕上げ				ステンレス鋼板				
表面処理				鋼板類の厚さ（mm）				※改修標準仕様書 表5. 4. 2による				
外部に面する建具				※図示による				・ mm 使用箇所（				
種別（改修標準仕様書 表5. 2. 2）				標準型鋼製建具の形式及び寸法				※建具表による				
・BB-1種				材料				ステンレス鋼板				
・BB-2種（着色： ・標準色 ・特注色）				ステンレス鋼板				※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1				
屋内の建具				ステンレス製くつずりの仕上げ				ステンレス製くつずりの仕上げ				
種別（開封標準仕様書 表5. 2. 2）				※HL				形状及び仕上げ				
・BC-1種 ・BC-2種				鋼板類の厚さ（mm）				※改修標準仕様書 表5. 4. 2による				
・BC-2種（着色： ・標準色 ・特注色）				形状及び仕上げ				・ mm 使用箇所（				
結露水の処理方法				標準型鋼製建具の形式及び寸法				標準型鋼製建具の形式及び寸法				
・水貯め式 ・排水式				※建具表による				※建具表による				
工法				（設計者等表示欄）※				（設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する。				
水切り板、ぜん板				岩木川浄化センター自家発電機棟耐水化工事				A-06				
※図示による				改修特記仕様書（その6）				—				
				青森県				—				

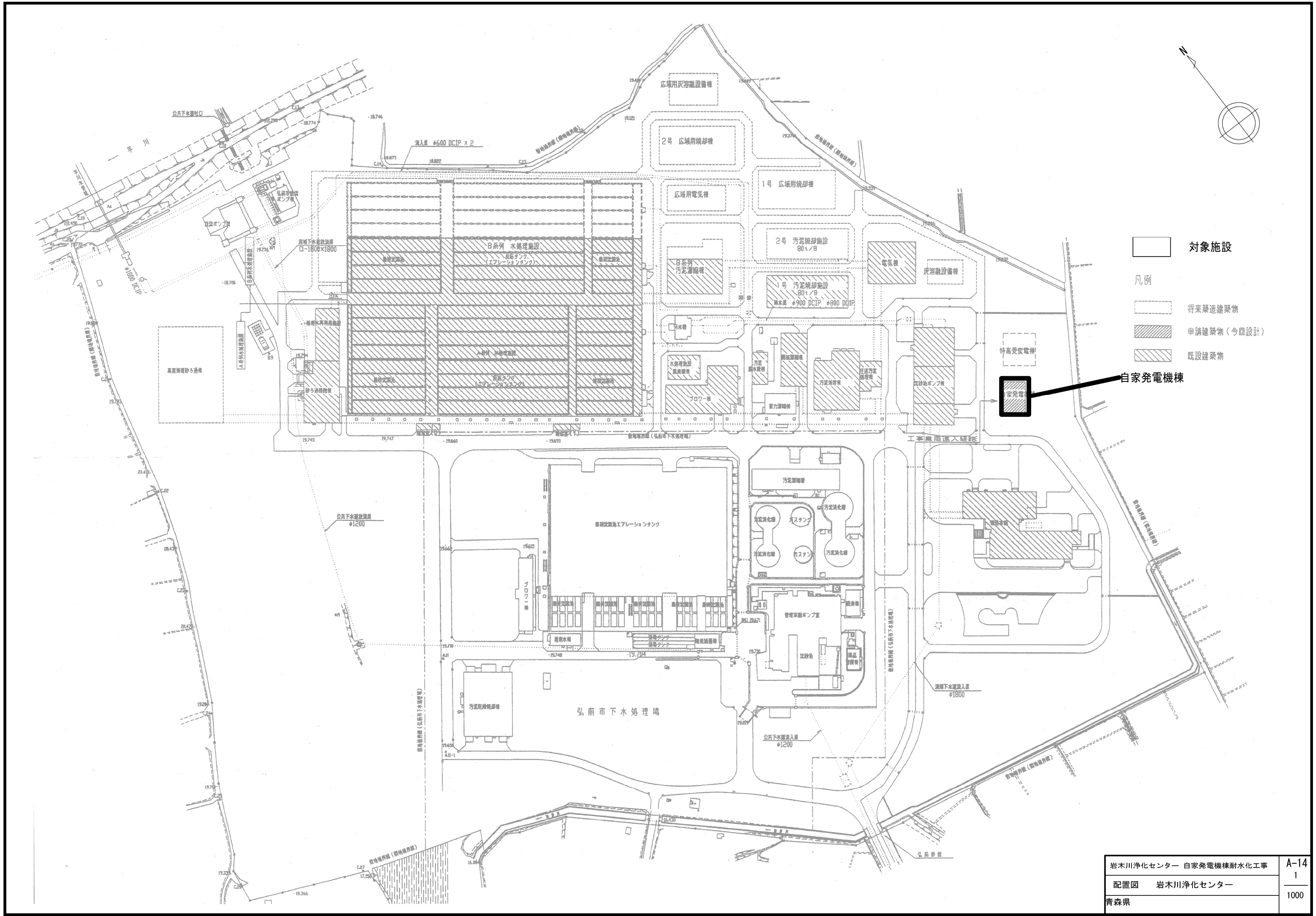
[illegible]

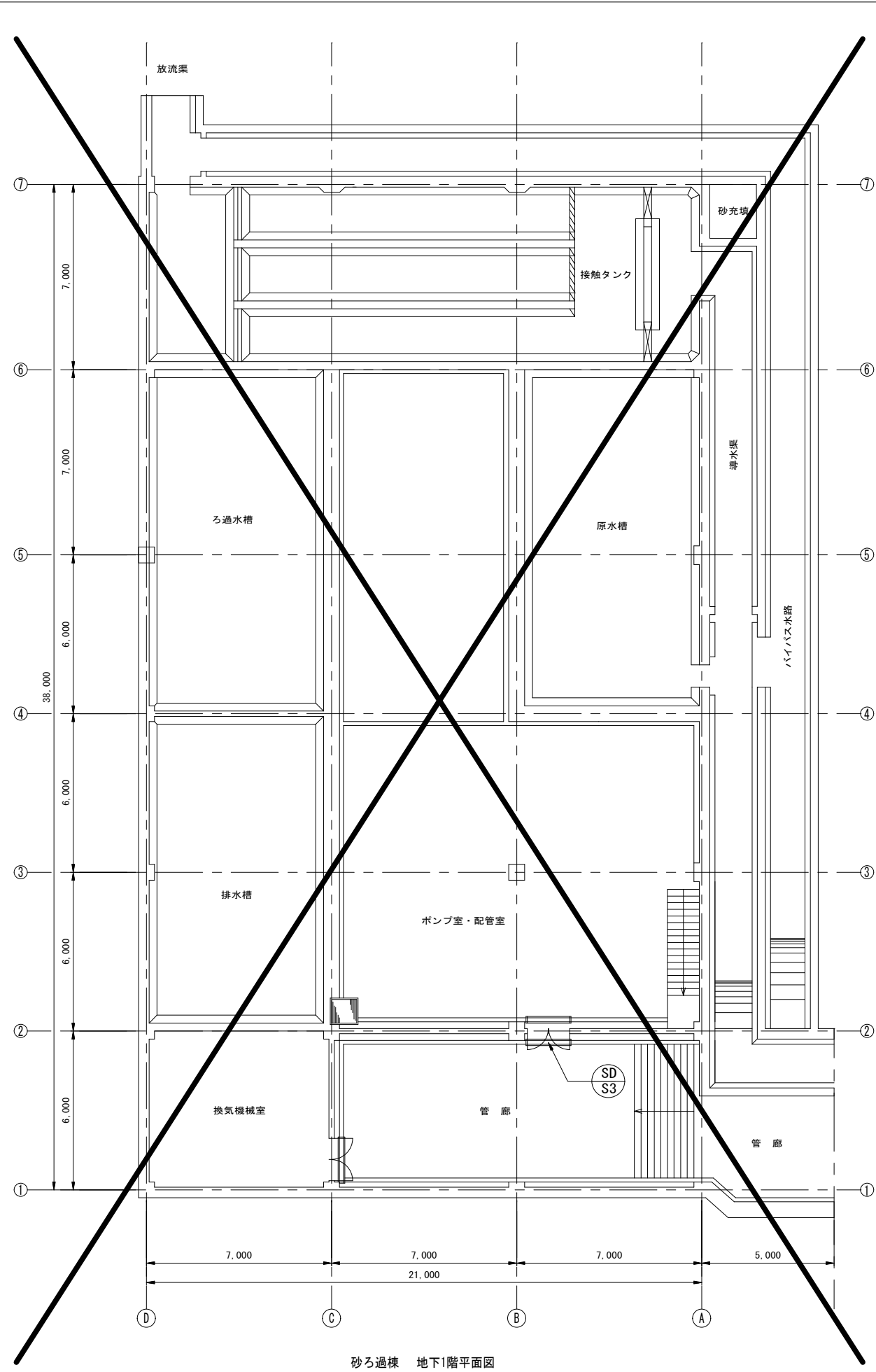
[illegible]

岩木川浄化センター自家発電機棟耐水化工事		工事特記仕様書	
I. 工事概要			
1. 工事場所		弘前市大字津賀野字浅田1168	
2. 敷地面積		200,000.00㎡	
3. 工事種目		1) 自家発電機棟 鉄筋コンクリート造 2階建 ブルボックス・配管廻り 取りこわし（躯体はつり） 一式	
4. 指定部分		・有 対象部分（ 指定部分工期 年 月 日 ○無	
5. 工事範囲		すべての躯体（捨てコンクリートまでとし、砂利地業は除く）及び仕上材すべてとする。 <	

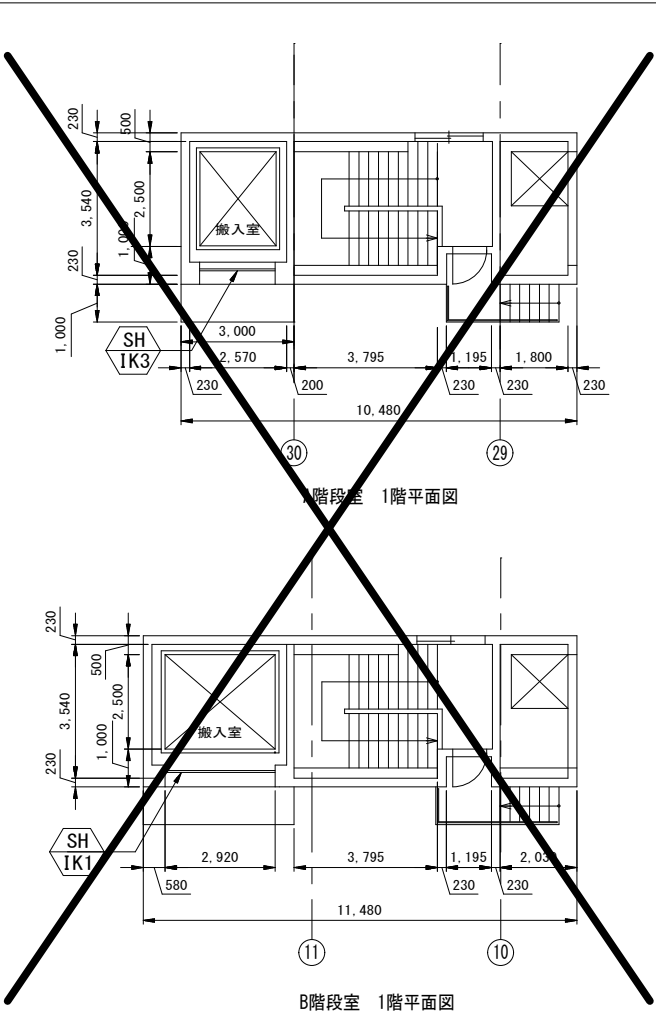
[illegible]

外 部 仕 上 表																																																							
※今回改修に関連する箇所のみ記載																																																							
岩木川浄化センター																																																							
自家発電機棟								(改修前と後は同じ)								重力濃縮棟								(改修前と後は同じ)								砂ろ過棟								(改修部は内部)															
床		腰		外 壁		備 考		床		腰		外 壁		備 考		床		腰		外 壁		備 考		床		腰		外 壁		備 考																									
・磁器質タイル ・コンクリート直均し ・モルタル塗り		・磁器質タイル ・コンクリート打放し (B)		・磁器質タイル ・コンクリート打放し (B) の上複層塗材 (RE)		【改修前アスベスト含有】 ・外壁仕上						・コンクリート打放し (B) の上複層模様吹付																																											
岩木川浄化センター																																																							
A、B 階段室								(改修前と後は同じ)																																															
床		腰		外 壁		備 考																																																	
				・コンクリート打放の上 複層模様吹付 マスチック塗材仕上		【改修前アスベスト含有】 ・外壁仕上 ・建具廻りシーリング材																																																	
内 部 仕 上 表																																																							
※今回改修に関連する箇所のみ記載																																																							
既 存 内 部 仕 上 げ																												改 修 後 内 部 仕 上 げ																											
棟	階	室 名	下地 区分	床	改修 内容	下地 区分	幅木	改修 内容	下地 区分	壁・柱	改修 内容	下地 区分	天 井	改修 内容	備 考	下地 区分	床	改修 内容	下地 区分	幅木	改修 内容	下地 区分	壁・柱	改修 内容	下地 区分	天 井	改修 内容	備 考																											
岩木川 浄化 センタ―	B1	砂ろ過棟		コンクリート	F	C	モルタル塗h=100	C		コンクリート打放し	C		コンクリート 打放し	F			同左	f		同左	c		同左	c		同左	f	SD-S3 天井高不明																											
		ポンプ室・配管室																																																					
	B1	砂ろ過棟		コンクリート	F	C	モルタル塗h=100	C		コンクリート打放し	C		コンクリート 打放し	F			同左	f		同左	c		同左	c		同左	f	SD-S3 天井高不明																											
		管廊																																																					
	1	A階段室		無筋コンクリート	F					コンクリート打放し	F		コンクリート 打放し	F			同左	f		同左			同左	f		同左	f	改修建具なし																											
	1	B階段室		無筋コンクリート	F					コンクリート打放し	F		コンクリート 打放し	F			同左	f		同左			同左	f		同左	f	改修建具なし																											
	1	自家発電機棟	C	床用塗料	F	C	床用塗料立上げ	F	C	グラスウール吸音材	C	B	グラスウール 吸音材 厚50	F	【改修前アスベスト含有】 ・建具廻り： モルタルコテ仕上		同左	f		同左	f		同左	c		同左	f	SD-IJ1、2、PB-IJ1、NH-IJ1 CH:約7500																											
		自家発電機室								厚50																																													
	1	重力濃縮棟																										改修建具なし																											
									</																																														



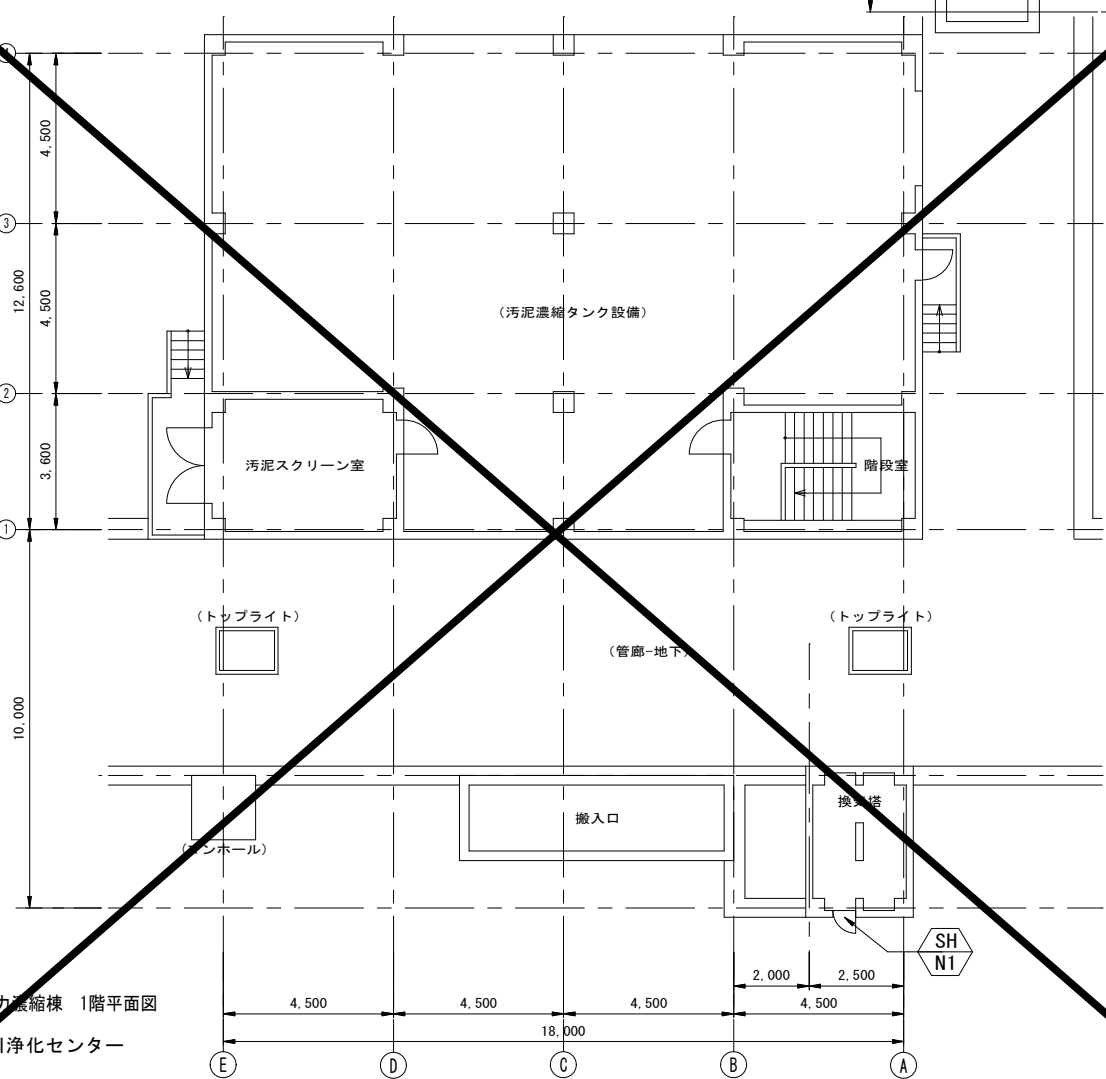


砂ろ過棟 地下1階平面図



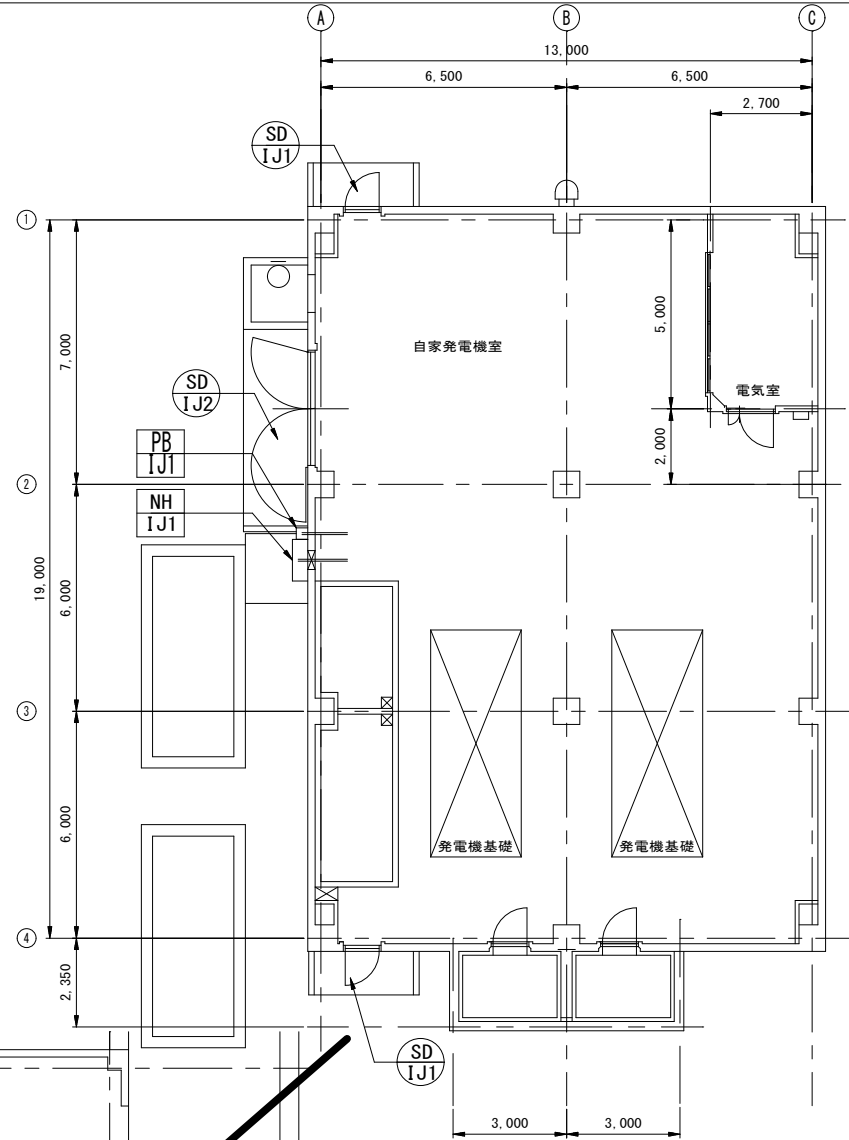
A階段室 1階平面図

B階段室 1階平面図



重力濃縮棟 1階平面図

岩木川浄化センター



自家発電機棟 1階平面図

- 凡例
- : 建具工事を示す
 - ◇ : 止水板設置工事を示す
 - : その他改修工事を示す
- IS : 岩木川浄化センター砂ろ過棟
IK : 岩木川浄化センター階段室
IJ : 岩木川浄化センター自家発電機棟
IN : 岩木川浄化センター重力濃縮棟
F : 藤崎中継ポンプ場
I : 田舎館中継ポンプ場
- ・PBはブルボックスの防水対策（発砲レジン工法）を示す：2か所
・NHは燃料配管開口の防水対策（ダンシール工法）を示す：1か所
・KKは給油管の防水対策（発砲レジン工法）：1か所

符号・名称・数量 (SD IJ1) スチール製片開きフラッシュドアー			個数：2	(SD IJ2) スチール製両開きフラッシュドアー			個数：1
場 所 岩木川浄化センター 自家発電機棟 自家発電電気室				岩木川浄化センター 自家発電機棟 自家発電電気室			
改 修 前 後 改 修 前				改 修 前			
形 状 寸 法				改 修 後			
▼対策水位 (21.88) ▼1FL (21.00) ▼GL (20.07)				▼対策水位 (21.88) ▼1FL (21.00) ▼GL (20.07)			
仕 上 (枠共) OP				建物外部DP、建物内部SOP			
建 具 見 込 50				80			
付属金物 DC、両面締りハンドル、シリンダー本締り錠				DC、大型丁番4枚、 順位調整器、大型上げ落し			
建具枠 見 込 160				両面締りハンドル、大型戸当り、あおり止め			
取 合 190				AT-1・K (下記参照)			
備 考 AT、(内部ロックウール充填)、特定防火設備60分				AT、(内部ロックウール充填)、特定防火設備60分			
改 修 後				改 修 後			
形 状 寸 法				▼対策水位 (21.88) ▼1FL (21.00) ▼GL (20.07)			
仕 上 (枠共) OP				建物外部DP、建物内部SOP			
建 具 見 込 50				112			
付属金物 DC、両面締りハンドル、シリンダー本締り錠				止水レバーハンドル錠、二軸丁番、 順位調整器、フランス落し			
建具枠 見 込 160				同左			
取 合 190				213			
備 考 AT、(内部ロックウール充填)、特定防火設備60分				6			
改 修 後				特定防火設備60分 (詳細図参照) 防水扉に更新 上部コンクリート増し打ち、アスベスト処理必要			

符号・名称・数量 (SD S3) スチール製両開きドアー			個数：1
場 所 岩木川浄化センター 砂ろ過接触棟 地下1階 ポンプ室・配管室			
改 修 前 後			
対策水位 (21.04) ※本建具は完全に水中			
形 状 寸 法			
▼B1FL			
仕 上 (枠共) FP			
建 具 見 込 40			
付属金物 DC			
建具枠 見 込 100			
取 合 169			
備 考 a1、(4-31-7) (下記参照)			
改 修 後			
対策水位 (21.04) ※本建具は完全に水中			
形 状 寸 法			
▼B1FL			
仕 上 (枠共) SOP			
建 具 見 込 125			
付属金物 DC			
建具枠 見 込 169			
取 合 169			
備 考 詳細図参照 防水扉に更新 上部、側部研り (開口部モルタル補修t20、面取り加工)、側部、下部コンクリート増し打ち 詳細図参照			

鋼 製 建 具 (気密)		く っ づ り
AT-1		k
AT-4		a

- 共
通
事
項
1. 特記なき限り外部はシリング錠錠 (内部サムターン) とし内部は本締り付きモノロックとする。
但し、押板、押棒の場合は、シリング本締りとする。

2. バイパスベス、ダクトベスの点検扉の錠はシリング本締り錠 (特記なき限り同一キー) とする。

3. 便所等の施設を必要としない箇所は錠なし、押板、押棒の場合は錠不要とする。

4. A H、F Hを除きD Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止めをつける。
壁仕上げボード設置の場合は底付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)

5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。

6. アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1、500以内とする。

7. 大型、気密両開き建具はシリング本締り錠付きとする。

8. 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。(付属詳細による。)

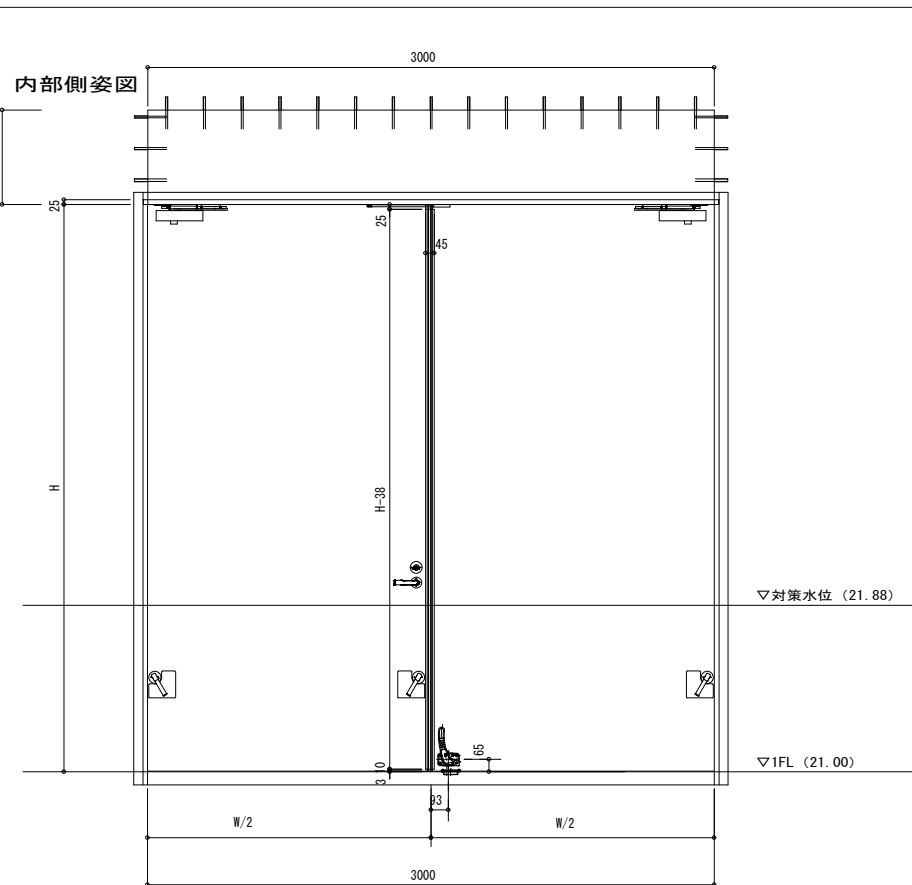
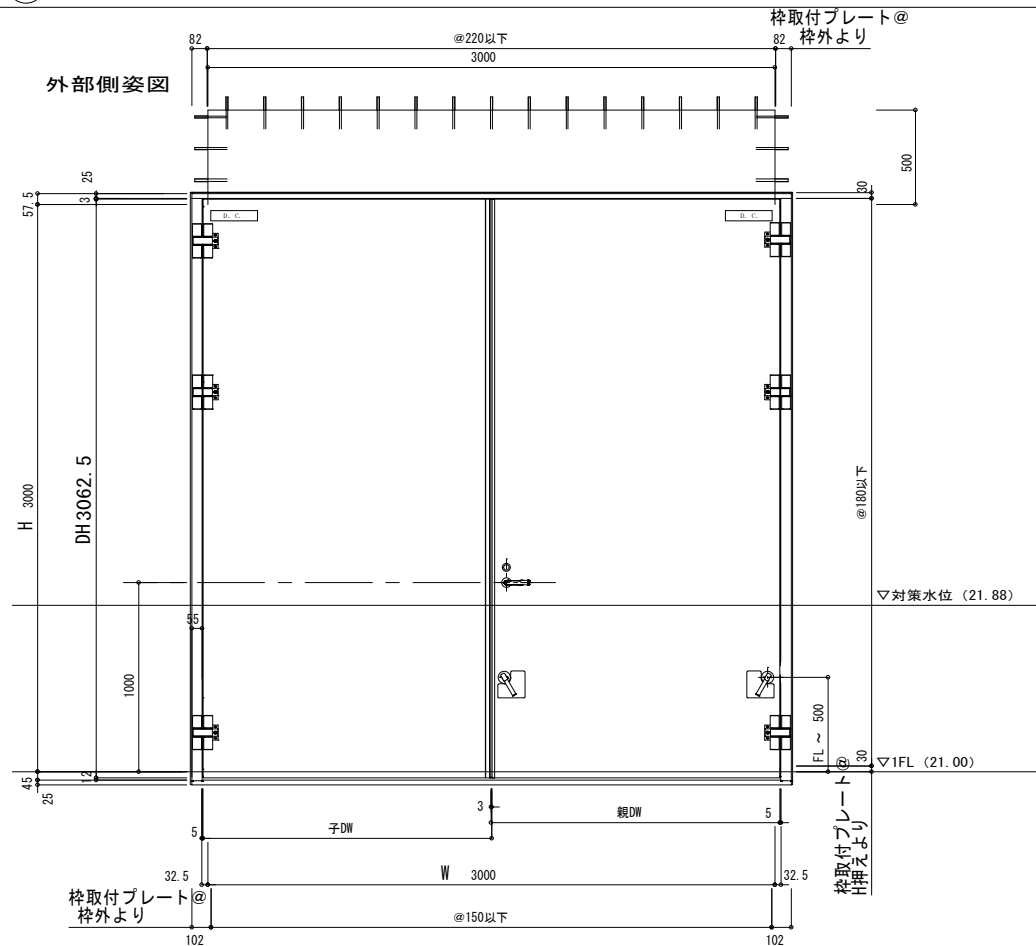
9. 特記なき限り両開き戸の見込みは40mmとする。

10. 防火戸の位置は建具設置図による。

11. 特記なき限り気密部、両開き建具の吸音材の充填は行なわないものとする。

建 具 略 号	種 別	戸	窓	ガラリ	サッシ シャッター	紙障子	ふすま	シャッター	観 戸
	アルミニウム製	A D	A W	A G	A O D			A S	a W
	鋼 製	S D	S W	S G	S O D			S S	
	鋼製軽量	L D						L S	
ガ ラ ス 略 号	ステンレス製	S S D	S S W	S S G				S S S	
	木 製	W D	W W	W G		P	H		
	F 複板ガラス				D C	ドアクローザー			
	P フロート板ガラス				A H	オートヒンジ			
金 物 略 号	N 網入型板ガラス				F H	フロアヒンジ			
	H P 網入型板ガラス				P H	ビロードヒンジ			

岩木川浄化センター 自家発電機棟耐水化工事		A-16
建具表		1
青森県		50



符 号	数 量	仕	枠: SOP (別送)	枠 形 状	
	1	上	扉: SOP (別送)	 S	T・SAT・PAT
金 具 品 名	メーカー	品 番 型 式 (参 考)		単位数量	備 考
止水レバーハンドル錠	ゴール	P-LJ2 S 1117 トクテュケン 同等品 QW-11103 119: シスノ100 オヤツシヨク 同等品	1	BS/76	扉厚103
止水グレモン	ゴール	QW-11103 119: シスノ100 オヤツシヨク 同等品	1	BS/64	扉厚103
		QW-11103 119: シスノ100 コトビヨク 同等品	1	BS/64	扉厚103
面付けグレモン 二軸ツ D C	タキゲン いわき	FA-841-(R・L) 同等品 240A-SUS 同等品	1	受け金具: FA-836S-1~1個	数量: 親子/各2~3
		NS: P-7006-フノリウビ: HSPV 同等品	2	ストツ無	
エアタイトゴム	ホクショー	AZ-115 同等品	1		
止水ゴム	ホクティ・ポリマー	BX-SOFR-A-02 同等品	1		
戸先ゴム	ホクティ・ポリマー	BX-SOFR-A-03 同等品	1		
順位調整器	N S	SF-450F 同等品	1	特殊	
フラス落し	リョービ	BX-RB-002 同等品	2		
戸当り	リョービ	RC-009A 同等品	2		

止水性能については、JIS A 4716に適合するものとし
漏水量等級Ws-6を満たすこと

【施工手順】

- (1) 既存シーリング、モルタル撤去
- (2) 既存建具撤去
- (3) 新設建具位置の上部の配筋
- (4) 新設建具位置の上部にコンクリート打設
- (5) 新規建具取付
- (6) 新規シーリング、モルタル充填

共通：下記部位にアスベスト含有の場合、別途指定のアスベスト撤去処理を行う。

- ・ 外壁
- ・ 内部モルタル詰め

